

2022年3月4日

株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテインメント
取締役事業統轄本部長 前沢 賢 様

一般社団法人北海道自然保護協会会長 在田一則
北広島森の倶楽部代表 加藤和子
北広島の自然を考える会代表 三澤英一

ご回答(1月31日付)および意見交換(2月4日)についての質問と要望

貴職におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

先日(2月4日)の意見交換では、貴重な時間を割いていただき感謝申し上げます。

私たちは、2021年7月20日付および9月22日付の要望書でもお願いしましたように、新球場周辺の特別天然記念物野幌原始林やそれに続く北広島レクリエーションの森、道道きたひろしま総合運動公園線に接する裏の沢川周辺など一帯の自然環境への新球場による影響を最小限にさせていただきたいと考えています。特に鳥類・コウモリ類・昆虫類、そして植生への影響を危惧しています。

先日いただいたご回答(1月31日付)は、SDGsに配慮したものと評価いたしますが、前回(2021年9月24日)私たちが質問・要望した項目については具体性に欠け、科学的根拠も示されていません。したがって、いくつかについてさらにお伺いしますので、具体的な回答をお願いいたします。

ボールパーク開業に向け着々と工事は進んでいるため、この意見書(要望)について、早急にご回答いただくとともに、次回の意見交換の場を設定していただきたく、お願い申し上げます。

なお、以下の要望の番号は1月31日にいただいた貴社回答の番号に対応しています。

1 自然との調和に向けた取り組み

① 植栽計画

- 「エリア内においては多くの緑化を行うこととし、配置する植栽については既存在来種に配慮した植栽計画とします」とありますが、エリア内の本来の自然が根こそぎ消失した現在、「既存在来種に配慮した植栽計画」とは何なのか、その計画の具体案をお聞かせください。

② 照明計画

- 照明が動植物に悪影響を与えることは広く知られています。例えば、「Mashup NY(2019-12-09)」によると、ニューヨークでは、鳥がビルに衝突するのを防止するため新たに建設するビルにbird friendlyな資材の使用を義務付けられているとのこと。また、Mashup NY(2021-09-18)は「高層ビル街で渡り鳥が大量死」と伝えています。
- 照明計画では、「球場内については、投光範囲を限定した照明装置」としています。また「外部への光の漏れを抑制するために指向性の高いLED照明の採用を行う」とありますが、どのような方法なのか、その方法がどの程度の効果があるのかを教えてください。
- 北海道の「道道きたひろしま総合運動公園線の整備における環境保全を考える協議会」第6回協議会資料では、各種光源(HID・LED・ハロゲン・ブラックライト)による昆虫類の誘引状況について専門家の調査にもとづくライトトラップ調査結果が報告されており、LED照明であっても昆虫を誘引することが指摘されています。
- 照明が植物の光周性を攪乱することは広く知られていることです。このようなことから、

特にレクリエーションの森側に光が漏れ出ないように遮光対策をこうじて下さい。

2 バードストライク対策

① 高さ軽減

- ・「自然との調和を最大限配慮するために、・・・フィールド面を 13m 掘り下げることで建物高さを約 73m に抑制しました」とありますが、これはバードストライクの対策としてということでしょうか。そうであるなら、建物の高さを 86m から 73m にしたことがバードストライク防止に効果がある根拠を教えてください。

② 運用面での軽減

- ・バットストライク対策の超音波装置とはどのようなもので、どこに設置し、どのような効果が期待できるのでしょうか。超音波を出すことでコウモリの行動を攪乱させる負の面はないのでしょうか。
- ・鳥避けの対策としての球場のガラス面前に低木植栽をするとのことですが、樹木植栽はかえって野鳥を呼び込むと思われれます。具体的な低木植栽計画を教えてください。また、低木植栽で鳥を避けうるという科学的根拠や実証例はあるのでしょうか。
- ・現段階で鳥などの球場への衝突はないとの事でしたが、その場で衝突死するものはごく一部で、あったとしても死体はカラスやキツネによって運ばれ人目につき難いのが一般的と思われれます。また衝突して傷を負い別な場所で死んでいる可能性も否定できません。ガラス面への野鳥衝突防止のために実効性の高い対策をこうじてください。

3 その他

① 自然体験

- ・「F ビレッジが持つアウトドア活動に加え、レクリエーションの森等も活用しながら、来場者に対して自然の重要性を伝える取り組みなどを進めていきます」とありますが、これは貴社単独で行うもののでしょうか。また、具体的にはどのような内容を考えておられますか。

② 周辺環境の保全

- ・「レクリエーションの森など、周辺の自然を保全する取り組みを検討していきます」とありますが、これも貴社単独で行うもののでしょうか。「自然を保全する取り組み」とは具体的にどのような取り組みを考えていますか。
- ・私たちは当初から、ボールパーク敷地での花火の打ち上げや球場から漏れ出る騒音は動物の行動に悪影響を与えるとして自粛することを要望してきました。しかし、全面禁止は非現実的なので、花火を打ち上げるなら、レクリエーションの森や特別天然記念物指定地から離れた場所で行うとともに、鳥の繁殖期には自粛するなど、鳥類やほ乳類へのストレスとならないような花火・騒音対策をこうじることを強く要望します。

③ 特定外来種への対応

- ・「特定外来種」とは具体的にどのような種を考えていますか。その対策はどのようなものですか。

④ 経過観察

- ・「周辺環境を継続的に観察し、結果をもとに施設管理運営マニュアルの定期的な見直しを行います」とのことですが、モニタリングを継続的に行い、問題があれば対策の見直しをすると理解してよいでしょうか。

私たちは動植物への影響を最小限にするために貴社とともに対策を考えていきたいと願っています。その際、専門家の意見が参考になると思いますので、既に提案しておりますように、専門家をまじえた意見交換の場の設置を強く希望いたします。

ご回答を4月4日までによりしくお願いいたします。